

恋

する

麒麟

きりん

の

甘露乳

あまあまあまあまあま



恋する麒麟

きりん

甘露乳

あまあまみるく

また  
ここへ来て  
しまいました…

空の持つアイテム  
『塵歌壺』の中には  
『洞天』という名の  
小さな世界が広がっており



ああ  
早くこのカラダを  
抱いてもらいたい…

空から  
『洞天通行証』という  
合鍵のようなアイテムを  
渡された者は

自由に洞天に  
出入りすることを  
許されていた



もうッ  
ガマン出来ないッ！



おのおのここで  
体を休めたり  
重ねたりして  
愉しむのであった…。

外界とは隔絶された  
この空間に来た者は



キモチ  
良すぎる!!

なにこれ…!?

わっすい  
出てる出てる！

あ  
ん

あ  
ん

あ  
ん...

あ  
ん

あ  
ん

ズ  
ズ

ズ  
ズ

ズ  
ズ

甘雨の母乳が  
出るように  
なりました。



本当にコレ  
どんどん  
出てくるわね  
軽くつまんだだけで...

ムチャクチャ  
ジュウ

そっ  
そっ  
そうなんです...  
あま〜



えっちなこと  
していると余計に...  
んあッ♡

でも驚いたよ  
甘雨しばらくここに  
来てなかったから  
どうしてるかと  
思ったら

ズン  
ズン



まさかお乳が  
出るように  
なってるなんて♡

あちゅう

ピクピク

あんっ♡

ほんのり  
甘くておいしいね♡

数時間前

こんな所へ  
お呼びだして  
すみません

他の人には  
話せないことで…

甘雨が私に  
相談ごとなんて…  
一体どうしたのよ？

私に打ち明ける  
悩みと言ったら

きっと  
旅人のことよね…

もしかして  
アイツがあまりに  
無節操だから  
気に病んで…？

あの…  
実はわたし…



母乳が  
止まらなくなって  
しまつて…



ん？



出ちゃうん  
です!!  
お乳が!!

ですからッ!

じわ

お乳

お乳



今なんて  
言った？

母乳  
お乳が…

おち…  
なに？

だから  
おちちが…

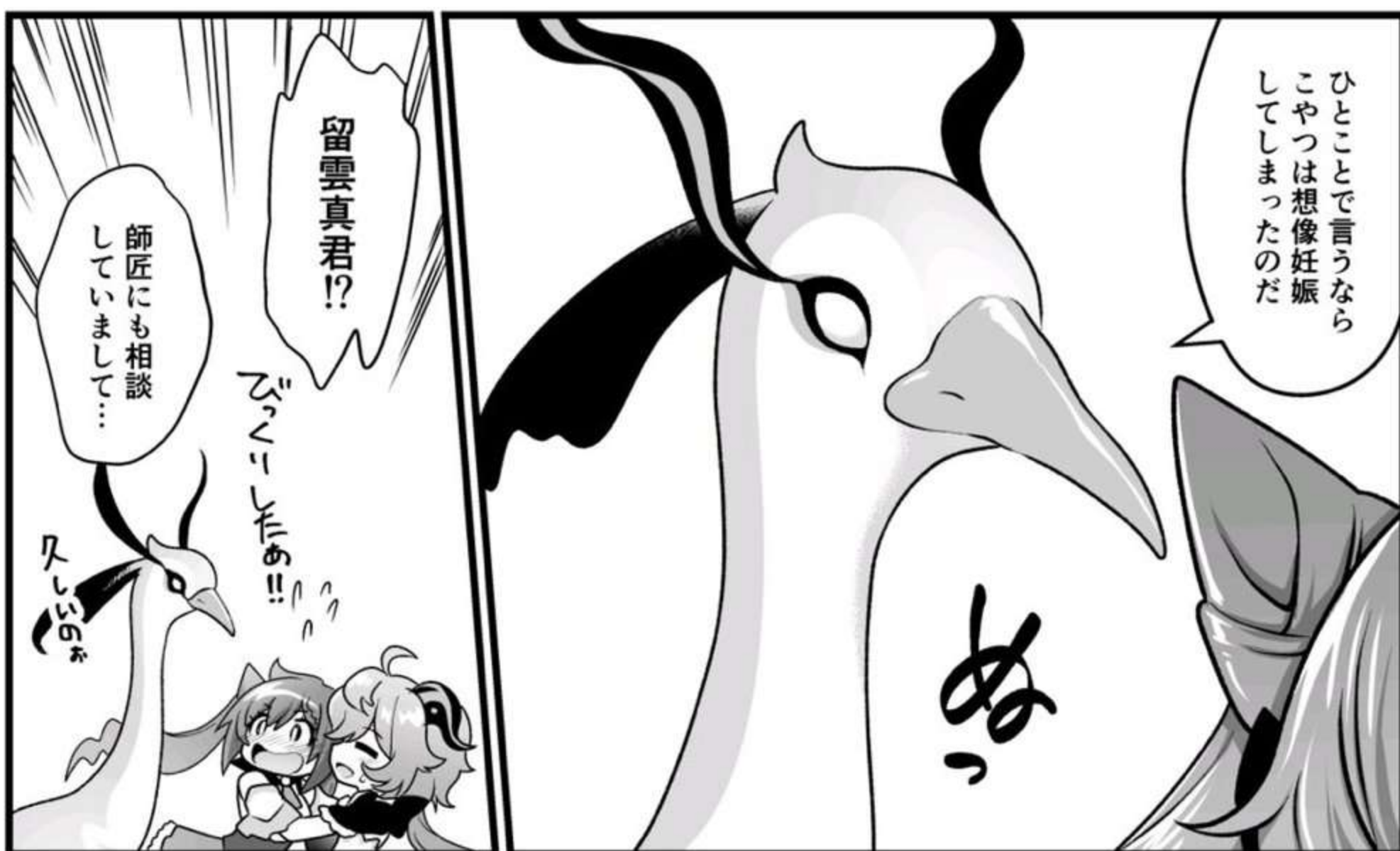




それって  
まさか妊…

それは違います

私は人間ではないので  
人間の子を孕むことは  
有り得ないんです



ひとことと言うなら  
こやつは想像妊娠  
してしまったのだ

留雲真君!?

師匠にも相談  
して…

びびりたあめ!!

クッソクッ

改めて  
こんな話をするのは  
少し恥ずかしい  
のですが…

わたし…空さんと  
体を重ねるうちに

彼への  
好意の気持ち  
が  
どんどん  
大きくなって…







ああっ甘雨！  
そろそろ出すよ！

あーっ  
あーっ

わっ...あーっ  
あーっ...あーっ

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

このまま  
出してください  
空さんっ♡♡

それはとても...

とても愚かな  
考えです

この身に  
子を宿して  
しまえば

あッ...

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ビュッ

その子とはずっと  
一緒にいられるのでは  
ないかと...



あんっ♡

んっ♡  
んっ♡  
んっ♡  
んっ♡



ひとたび  
欲してしまえば  
最後

その願いは  
己の体質に異変を  
もたらしてしまったのだ



んっ♡

んっ♡

んっ♡  
んっ♡

甘雨ったら...

子供が欲しいと  
思うほど  
空のことが  
好きだったのね





このままでは  
仕事に支障が出る  
母乳がおさまるよう  
刻晴どのにも手を  
貸してもらいたい

解決策が  
あるんですか!?

うむ  
単純な話よ



あー!!  
だめえ!!

母乳が出なくなるまで  
徹底的に搾り出して

あー!!  
あー!!  
あー!!



あー!!  
あー!!

全部出しきって  
しまえばいいのだ!!

あー♡  
いくといっぱい  
出るんだね

あー!!  
あー!!



今日は  
甘雨をいっぱい  
気持ちよくさせて  
いっぱい  
乳搾りしないと  
いけないからね！

まったく…



能天気  
なんだから...

カッパッパッ



んあッああッ...  
刻晴さんっ  
そんなに  
しほっちゃ...  
はぁ~~~~

いくらでも  
出てくるわね  
ほんと...

ズルズル

ズルズル



カッパッパッ

カッパッ

カッパッ

ズルズル

ズルズル

ズルズル

ズルズル





なんだか母乳  
出る勢いが弱く  
なってきたね

いじゃあ…

それなら  
このまま一気に  
飲み尽くして  
しましょ!

空さん…  
刻晴さん…

ちやうど…

ちやうど…

ふたりとも  
一生懸命お乳を  
吸ってくれて…

まるでわたしの  
赤ちゃんみたい…

なんででしょう  
これ…?

なんだか  
とても  
満たされた  
気持ち…



眠くなって  
しまったん  
でしようか？

ふふ：  
おっばいで  
お腹いっぱい  
になって



こうして  
共に過ごす時間は  
あつという間に  
過ぎてゆくけど…



短い時と  
わかってる  
からこそ…



今の幸せを  
かみしめ  
ようと

しみじみ  
そう思う  
甘雨であった

めでたし  
めでたし

をなの  
116521...

おしまい

# 恋

する

# 麒麟

の

きりん

# 甘露乳

あまあまみるく

発行 URAN-FACTORY  
発行日(冊子版) 令和5年12月30日 C103  
連絡先 [doujin@uran-factory.sakura.ne.jp](mailto:doujin@uran-factory.sakura.ne.jp)  
タイトルロゴデザイン yUtA様

Twitter



※この作品はフィクションであり、実在する人物・地名・団体とは一切関係ありません

▶禁止事項◀

無断転載・複写・転用・WEB上へのアップロード ネットオークション及びフリマアプリへの出品  
No reproduction or republication without written permission

恋

する

麒麟

きりん

の

甘  
露  
乳

あま  
あま  
あま  
みるく

URAN-FACTORY